

# 国際交流基金助成事業報告書

薬学部 4年次生 末廣 春佳

## 1. はじめに

この度、本学の国際交流基金の助成を受け、2017年2月26日から同年3月10日の間、オーストラリア New South Wales 州のキングスクリフにある TAFE (高等職業訓練専門学校) にて語学と薬学を学んで参りましたので、報告させていただきます。

本研修は大阪薬科大学の学生8人で参加いたしました。

## 2. North Coast TAFE にて

TAFE は大学とは異なり、専門知識・実践力など社会に出てからの技術を学ぶための学校です。学生は、オーストラリアはもちろん、ロシアやベトナム、タイ、日本などから来ており、年齢も同世代から親世代までと幅広い人たちが在籍しています。

### 1) English class

英語の授業では、オーストラリアの地理や文化、動物について学び、5W1H などの文法なども勉強しました。また他の英語クラスの人たちと交流し、お互いの国の文化や生活について情報交換し、異文化交流しました。

授業は全て英語でしたが、ほとんど辞書を使わず、表情や動き、分かる単語から意味を推測し、それでも分からなければ積極的に質問することでより理解を深めることができました。

### 2) Pharmacy class

オーストラリアの薬の分類や薬剤師の役割、日本との違いについて学びました。また、規模の大きい薬局と小さい薬局へ見学に行き、どのようなサービスを提供しているのか、薬の配置はどう区別されているのかなどを視察しました。

こちらも授業は全て英語でしたが、日本の制度と比較することで違いに気づくことができ、また現場の薬剤師さんに直接質問することで、どのような仕事をしているのか理解することができました。

### 3) その他

アボリジナルカルチャーを学ぶためアボリジニに話を聞き行き、伝統的な文化伝承の方法や、住まい、ルールなどを教えて頂きました。

他にも Remedical Massage の学生の施術モニターを体験することで、自分の気持ちや痛みをきちんと相手に伝えることもできるようになりました。

### 3. Kingscliff とは

キングスクリフという地域はオーストラリアのクイーンズランド州とニューサウスウェールズ州との州境からやや南に位置する田舎町です。

のんびりとした町で、丘が多く、ビーチまでは徒歩 10 分程度で行くことができます。

人々はフレンドリーで目が合うと知らない人でも挨拶をしてくれるような、穏やかで心地よい町です。滞在中パトカーなどのサイレンを耳にしなかった程、平和な街でした。

キングスクリフでは、ゆったりとした時間を過ごすことができました。

### 4. ホームステイ先での生活

ホームステイ先はキングスクリフにある Hilda さん宅でした。今までホームステイを経験したことがなく、不安でいっぱいでしたが、温かい御夫婦に受け入れて頂き、食後の団欒や家事のお手伝いをするなどして、本当の家族のように過ごすことができました。また、車でショッピングセンターに連れて行ってくださったり、海で泳いだりし、とても充実した楽しい時間を過ごすことができました。

### 5. おわりに

今回の語学薬学研修を通して、私は、相手の話す英語をきちんと理解し、それに応答できるようになりました。今まで海外に行っても自分の聞きたいことだけ聞いて Thank you と会話を終えるようなことしかできませんでした。しかしこの研修で初めてホームステイを経験し、現地の人と時間を共にすることで、相手の話す英語を理解したいと思うようになり、耳を傾けるようになりました。英語力が格段上がったわけではありませんが、他愛のない日常会話で笑ったり、その日学校であったことを話したりできるようになりました。

私は、日本語が話せるだけで満足してしまっていたましたが、世界では英語を話せないと通用しませんし、自分の想いや知識を伝えるには英語は欠かせないと思い、もっと勉強しなければいけないと改めて思いました。この研修で新しい友人に出会い、異文化に触れられた事は、私にとって大きな転機となりました。

今後、実務実習やインターンシップに参加し、就職活動の時期を迎えます。今回で感じたことを忘れず、毎日一步一步成長していきたいと思えます。

最後になりましたが、学生課、佐久間准教授のご支援、また、国際交流基金の助成により、このような貴重な機会を設けていただいたこと、大変光栄に思います。ありがとうございました。

## 研修日程・活動内容

2/26 夜行便 関西国際空港→ケアンズ空港→ゴールドコースト空港

### 2/27 Afternoon tea + Welcome party

空港から直接 TAFE へ行きました。  
ホームステイ先のご家族が迎えに来てくださり、  
ドキドキの研修がスタートしました。



家に帰ると、我が家は日本式だからということで靴を脱いで家の中に入るよう言われました。外国の方は靴を履きながら生活していると思っていたので驚きました。

その後、車でスーパーマーケットへ連れて行ってもらい、夕飯の具材を選びました。  
私はラム肉を食べたことがなかったので、そう伝えると、ホストマザーだけでなく肉屋さんのお兄さんも Really?!と驚いていました。オーストラリアでは牛肉よりも羊肉の方をよく食べるそうです。

### 2/28 AM Campus orientation

TAFE 内を案内してもらいました。TAFE には職業別に特化した建物があり、自動車整備を学ぶクラスでは、本物の車を大きな機械や工具を使って修理する演習をしていたり、美容を学ぶクラスでは、美容室のような設備とマネキンを使った実践的な勉強をしていたりしていました。

### PM English class

まず自己紹介をしてから、ホームステイ先で使える英語について学びました。その中で特に時間に関する質問はとても大切だと感じ、帰宅後、次の日に起きる時間や学校が終わる時間などを伝えてみました。

放課後、近所にホームステイしている友達とキングスクリフを散策しました。  
海に行こうと思ったのですが、キングスクリフは坂が多く、地図上で見るよりも遠く感じました。



夕食後、車に乗り浜辺にある SURF CLUB に連れて行ってもらいました。



火曜日だったので TRIVIA というクイズ大会が行われていました。

質問を聞き取るので精一杯でしたが、出題者が機転を利かせてくださり、日本の国旗の丸は何色? というクイズに正解することができました。

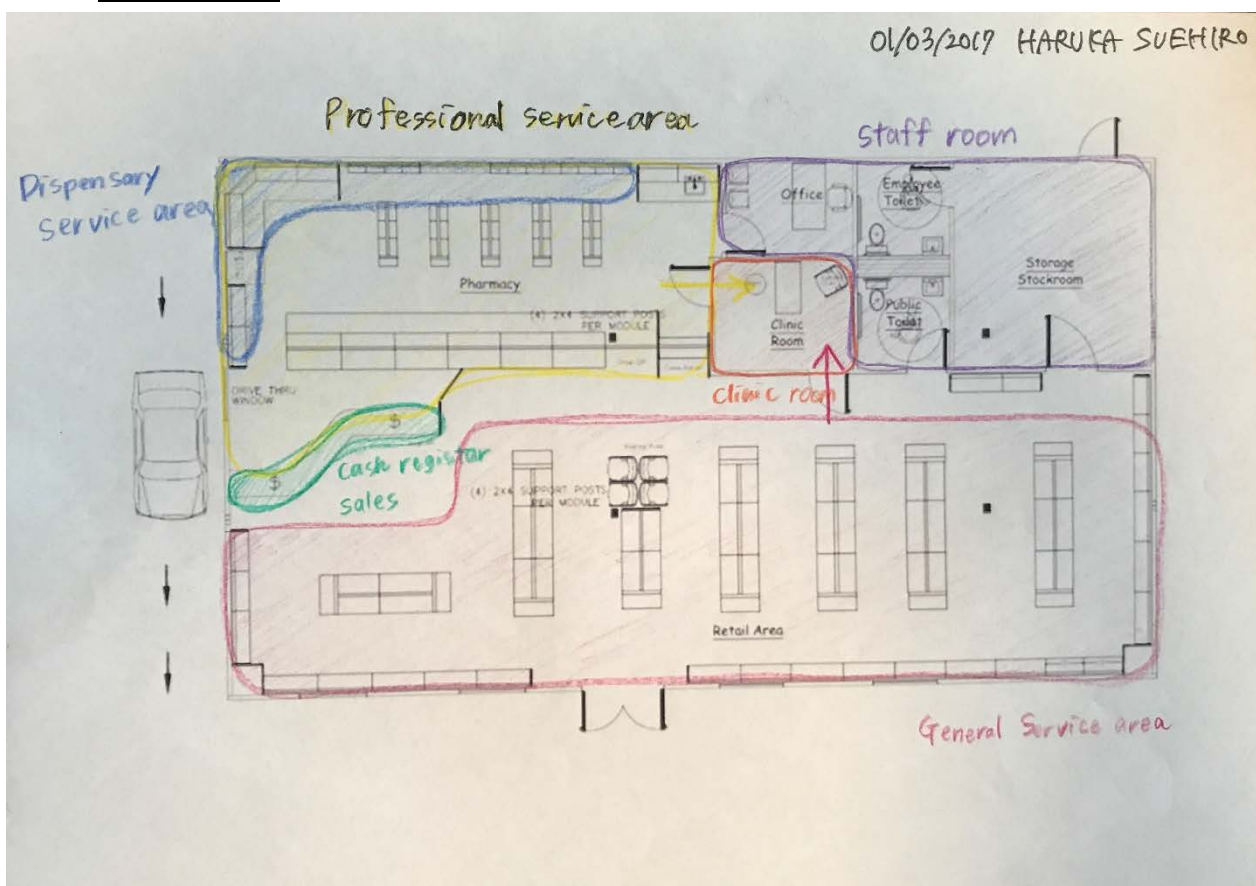
### 3/1 AM English class

自分の体調を英語で伝えたり、オーストラリアの地図を見ながら都市を調べたりしました。自分の体調を伝えることはホームステイ先でもとても大切なことだと思いました。また、相手の体調を聞けるようになることも医療人として大切なことだと感じました。

### PM Pharmacy class

薬学クラスでは、オーストラリアの薬局の薬の配置図をみて、そのエリアごとに役割の異なった人たちが働いていることを学びました。また、オーストラリアで一般的な薬と日本で一般的な薬をお互いに挙げ、どのような働きがあり、どんな成分が含まれているかを共有しました。オーストラリアでは Panadol が一般的で、薬局やドラッグストアだけでなく、スーパーや雑貨屋さんにも売っているそうです。オーストラリアも日本の第一類医薬品、第二類、第三類と同じように薬によって取り扱うための資格が異なり、10段階に分かれています。

### Pharmacy area



大きく 6 つのエリアに分かれており、お客さんが立ち入れるのは General Service area と Cash register sales と Clinic room の 3 つです。

### Scheduling 1-10

Classified according to level regulatory control over the medicine or poison's availability.

Created to protect public health and safety.

Schedule 1 (Unscheduled)	Not currently in use Supermarket medicines	Can be sold in Supermarket Less health risks for public	一般販売薬
Schedule 2	Easy to use , safe		薬局義務薬
Schedule 3	Pharmacist only	Can be addictive Record Sale -database on internet	薬剤師義務薬
Schedule 4	Prescription Only Medicine		処方せん薬
Schedule 5	Caution		家庭で使われる化学物質
Schedule 6	Poison		工業用薬品および農薬
Schedule 7	Dangerous Poison		毒薬
Schedule 8	Controlled Drug		習慣性もたらす医薬品
Schedule 9	Prohibited Substance		治験薬、研究用試薬など
Schedule 10	Substances of such danger to health as to warrant prohibition of sale, supply and use		

Can only be sold in Pharmacies, Specific storage locations Specific Sale requirements.

よく使う薬は US、S2、S3、S4、S8 の 5 分類です。

S8 は麻薬などの管理が必要な薬で、S4 は処方せん医薬品で処方箋が必要な薬です。

US、S2、S3 は一般用医薬品で、このうち S3 には「Pharmacist Only Medicine (薬剤師義務薬)」と表示が義務付けられており、販売にあたって薬剤師が必ず対応しなければならない医薬品です。





### 3/2 AM English class

オーストラリアの白地図を用いて、首都と州首都を書き込んだり、ホストファミリーが訪れたことがある都市を宿題として聞いて書き込んだりしました。

また店の看板から何を売っている店か考えることもしました。

Fruit and Vegetable - apple, onion, banana, melon, tomato

Hardware - screwdriver, hammer, nails, gardening, tools

Butcher - meat (chicken, lamb, pork, beef)

Deli - cheese, cold meats, sausage

Clothes - dress, skirt, trousers, pants, T-shirts, shirts, polo shirt

Bakery - bread, cake, biscuit, milk, eggs

Super market - margarine, anything

Newsagent - newspaper, lotto ticket, phone sim, credit, stamps, cigarettes

### PM Pharmacy class

Tweed area にある2つの薬局に見学に行きました。

UNITED DISCOUNT CHEMISTS

Amical chempro Tweed South

General Service Area では大きく7つの区分のスキンケア/化粧品、ベビー用品、ビタミン剤、救急用品、口腔衛生用品、医療機器、アイケアに分かれています。



印象的だったことは日本では大きくスペースがとられていないビタミンコーナーですが、オーストラリアでは各家庭に必ずあると言っていいほどサプリメントを摂るため、たくさんさんのサプリメントが並んでいることでした。

Professional Service Area では医薬品の名前から探し、用法・用量などを調べました。

Medicine	Schedule	Active ingredient	Quantity
Panadol OSTEO	2	Paracetamol665mg	96CAPLETS
Gastro Stop	2	Loperamid Hydrochlorides2mg	12/20CAPLETS
Telfast	2	Fexofenadine Hydrochloride180mg	10TABLETS
NUROFEN PLUS	3	Ibuprofen200mg Codein phosphate12.8mg	12/24/30TABLETS
Codral Original	3	Paracetamol500mg Codein phosphate6mg	24TABLETS

		Pseudoephedrine Hydrochloride30mg	
Phenergan	3	Prometazine25mg	50TABLETS
RESTAVIT	3	Doxylamine succinate25mg	20TABLETS

日本ではあまり見かけませんが、  
寄生虫の薬やバンドタイプの酔い止め  
なども売っていました。



Dispensary では、コンピューターや処方せん、ラベルプリンターや S8 医薬品、医薬品冷蔵庫がありました。薬剤師の Linda さんは処方せんを見て薬を選び、ラベルを印刷していました。オーストラリアの処方せんは 2 枚複写になっており、薬剤師は薬と残りの 1 枚と併せて患者さんに返します。その複写された処方箋を持っていれば、医者に診てもらわなくても、最初の処方箋が発行されてから原則 1 年間は同じ薬をどこの薬局でも受け取ることができます。私はこの処方せんシステムは患者さんが来院する手間を省き、医療費削減にも繋がるので、長期連用の薬についてはとても良いと思いました。

Pharmacy Services としては Clinic room で行われる血圧測定や、Webster packing、インフルエンザウイルスの予防接種などがありました。また薬剤師会発行の医学証明書も掲示されていました。



私が特に興味をもったのは Webster packing です。  
これは主に高齢者向きに行われているサービスで、  
たくさんの種類の薬を服用している方が飲む薬を  
忘れないように、一回分ごとにパッケージしています。  
患者さん一人一人に合わせて行われるため、  
薬局で個人個人に分けた薬が保管されています。  
これはかかりつけ薬局制度が定着しているからこそ  
実現できていることだと感じました。

また、薬局には薬剤師だけでなく Dispensary assistants や Pharmacy assistants も働いていて、各々の仕事を役割分担して行なっているので、スムーズに機能しており、画期的だと思いました。

帰宅後、クイーンズランド州にある ROBINA TOWN CENTRE という周辺地域にある最大級のショッピングモールに連れて行ってもらいました。  
オーストラリアでは昔、州の決まりで店の営業時間が決められていました。月から金まで

は17時まで、土曜日がお昼まで、日曜日は休みでした。木曜日だけ Late Night Shopping と称して、21時まで開けていてよい決まりでした。今は規則が緩和されたようですが、その名残があります。この日は木曜日だったので外食をしました。日本では週末に外食をすることが多いので少し違和感もありましたが、とても楽しかったです。

驚いたことは、食料品売り場で家族連れがカートを押し、子どもがカート内のお惣菜をつまみ食いしていましたが、親は何も注意することなく買い物していたことです。その後そのままレジへ行き、お会計を済ませていました。オーストラリアではカートに入れた時点で自分のものとしてそのまま購入すれば問題ないという結果論的なスタイルだなと感じました。

### 3/3 AM English class

オーストラリアの動物について勉強しました。コアラやカンガルーは有名ですが、ウォンバットやエキドナ、クックバラ、エミュー、ディンゴなどなど知らない動物がたくさんいることに驚きました。

また、道の聞き方も学びました。近年スマートフォンが普及しており、アプリケーションにより道に迷うことは減りましたが、海外にきて Wi-Fi のない環境下では人に道を聞くことが多かったので、ここでの勉強は役に立ちました。

PM Aboriginal Cultural awareness Fingal Head public school  
アボリジニの Franc さんにアボリジニが食べていた木の実や動物、薬として使っていた薬草などを教えていただきました。

これらはブッシュタッカーと呼ばれアボリジニの大切な栄養源で、特にウィッチェティ・クラブという虫は、たんぱく質など栄養価の高い食材として重宝されていたそうです。

代表的なものとしてブーメランは知っていたのですが、ディジュリドゥという楽器は初めてみました。この楽器はユーカリでできていて、低音から高音まで様々な音が出ます。ディジュリドゥは男性が奏でる楽器で、女性が触ることは禁じられているそうです。

アボリジニは代々文字を使わずに伝統と文化を継承してきました。語り継いだ伝説や物語もあれば、絵によって伝えられたものもあります。





上の絵は、様々な国の人がこの土地に対する見方を抽象的に絵で表したものです。アボリジニの見るオーストラリアは、真ん中の絵で全ての自然が生き物のように表現されています。



絵で描かれている岩も観に行きました。その近くにはアボリジニが使っていた寝室やトイレなどもあり、ここで生活していたと実感することができました。

ここから見える景色でアボリジニは暦を把握し、漁や狩猟していたと聞き、人間の能力は無限であると感じました。

アボリジニは血縁関係で受け継がれるのではなく、育ったコミュニティにより継承されているそうです。小さい頃からアボリジニの集会に参加し、育った人がアボリジニとして名乗り、Francさんのように伝統や文化を広めていっています。アボリジニの人から直接お話を聞く機会は少ないので、良い経験になりました。

帰宅後、海へ軽く泳ぎに行ってから、毎週金曜日に開催されているキングスクリフのナイトマーケットに行きました。地元の方がたくさん訪れていました。在住している日本人の方も多く、日本人が出店している餃子屋さんでラムネを買いました。とてもアットホームな雰囲気でした。

### 3/4 MOVIE WORLD

この日は学校が休みだったので、近所の友達とムービーワールドに行きました。USJのようなテーマパークでたくさん乗り物にも乗り、楽しかったです。ショーやパレードでは、観客の盛り上がり方が日本と比べて熱く、たくさん歓声が上がっていたので、私たちもハイテンションで楽しく観劇できました。

### 3/5 Walk + Currumbin Wildlife Sanctuary

土日は浜辺周辺のお店がたくさん開店していると聞いたので、朝から散歩に行きました。街で一番おいしいと言われているアイスクリームを食べると、着色料で舌が真っ赤に染ま

りました。浜辺のカフェでは長蛇の列ができるほど朝食を食べにくる人が多いことに驚きました。日本では朝食を外に食べに行く文化はありませんが、オーストラリアでは休日は外食することが多いことが分かりました。

その後、学校の課外授業としてアニマルパークに行きました。数日前に授業で習ったオーストラリアの動物をたくさん見ることができ、良かったです。印象的な動物はウォンバットです。ウォンバットは有袋類動物で、産まれた時は小さくビーンズ程で、育児嚢の中で育ちます。成長スピードはとても速く、あっという間に 30kg 近くまで大きくなるそうです。また、人懐っこい性格ですが、鋭い歯と爪、硬いお尻を使って縄張りを守っているので、危険な動物でもあります。糞はサイコロ状でした。見た目はとても可愛らしく、愛くるしいシルエットなので印象に残りました。

### 3/6 AM English class

この日は英語の単語の中で発音の似ているものを聞き分ける授業でした。最初は違いが分かりませんでした。次第になんとか分かるようになりました。しかし、自分で発音するのはそれよりも難しく、なかなか舌を上手く使うことができませんでした。

ship – sheep	light – right	cat – cut
it – eat	lies – rise	ankle – uncle
hit – heat	fly – fry	ran – run
bin – bean	play – pray	drank – drunk
live – leave	pilot – pirate	match – much

### PM Pharmacy class

オーストラリアの薬剤師にもタイプがあり、4つに分かれています。

Community pharmacists – 医師や他の医療従事者への薬剤の選択と使用に関するアドバイス、主要な医療アドバイスとサポート、健康増進、疾病予防、医薬品の適切な使用について指導する薬剤師

Consultant pharmacists – 地域の薬局または病院で勤務していたり自営業で働いていたたりする薬剤師で、地域の薬局と連携して、在宅ケアまたは外来ケアを行ったり、他の投薬に関する投薬計画などを提供する薬剤師

Hospital pharmacists – 病院で働き、医療チームの一員として運営され、投薬の使用状況の監視、患者のカウンセリング、医療従事者と地域社会への薬物情報とアドバイスの提供、臨床試験の実施、患者への投薬の準備をしています。他の医療従事者や地域市民とコミュニケーションをとっている薬剤師

Industrial pharmacists – 医薬品および医療製品の研究、開発、製造、試験、分析およびマーケティングを行う薬剤師

薬剤師に関する情報は Pharmaceutical Society of Australia という組織が統括しています。また TGA(Therapeutic Goods Administration) というものがオーストラリア保健省薬品・医薬品行政局により定められています。TGA 認定は、1989 年にオーストラリア政府が治癒効果のある商品の品質を保証することを目的に制定した、生産過程に対する独自の規制です。認定後も常に、抜き打ち検査を行なうなど厳しい基準が設けられています。このように薬の安全性が監視されているのは、日本と似ていると感じました。

### 3/7 AM English class

オーストラリアの住所の書き方を学びました。  
日本と同じように郵便番号が設定されていることに驚きました。また、どのような道にも名前が付けられているので、地元の人には道の名前で大体分かるそうです。番地は、一軒家と二世帯住宅では異なっています。番地から私のホストファミリーの家は二世帯だということが分かりました。

Name

1/1(town code) Street name

Suburb (town) State Postcode

### PM Pharmacy class

前日の授業で、何か学びたいことがあるかと聞かれ、私はオーストラリアの処方せんについて知りたいと要望したところ、先生が処方せんに関する授業をしてくれました。私が処方せんについて興味を持った理由は、薬局見学に行った際に処方せんが複写になっていることに驚いたからです。日本と圧倒的に異なる点だと感じました。

### Prescription content

Dr A Practitioner **1**  
 99 Station St  
 Central NSW, 2001  
 Phone: (02) 9999999  
 Prescriber number: 123456 **2**

Patient's Medicare no. 1 2 3 4 - 5 6 7 8 9 - 1 Patient's Ref no. 2

Patient's full name John Citizen  
 Patient's address 22 Smith St **3**  
 Central NSW Postcode 2001

Entitlement no. **11**  
 PBS Safety Net entitlement cardholder  Concessional or dependant, RPBS beneficiary or PBS/Safety Net concession cardholder

(Tick appropriate boxes)  
 PBS  RPBS  Brand substitution not permitted  **10**

**4** Omeprazole capsule 20 mg **5**  
 Take 1 D **6**  
 Qty: 30 capsules  
 1 Repeat **7**

Pharmacist/patient copy

Privacy notice on reverse  
 Doctor's signature Dr A Practitioner **8** Date 01 / 01 / 201X **9**

I declare that I have received this/these medicine(s) and the information relating to any entitlement to a pharmaceutical benefit is correct.

Patient's or agent's signature \_\_\_\_\_ Date of supply \_\_\_\_ / \_\_\_\_ / \_\_\_\_  
 Agent's address \_\_\_\_\_

- 1.your name and practice address
- 2.your prescriber number
- 3.patient's name and address
- 4.indicate the box that is relevant to your patient, PBS or RPBS
- 5.name, strength and form of medicine
- 6.dose or instructions for use
- 7.quantity and number of repeats, no abbreviations
- 8.your signature
- 9.date prescription is written  
 - forward or back dating is not permitted
- 10.if appropriate, tick 'Brand substitution not permitted' box
- 11.Medicare, concession and veterans' card numbers

記載されている内容は日本と同じこともあり、分かりやすかったです。

日本と少し異なる点は PBS(Pharmaceutical Benefits Scheme) という処方薬の費用助成制度で、補助金をオーストラリアの住民や外国人訪問者が利用することができるものと、RPBS(Repatriation Pharmaceutical Benefits Scheme)という退役軍人、戦争の未亡人および扶養家族が退役軍人省 (DVA) によって管理される送還医薬品給付制度があることです。PBS 指定されている医薬品は安く手に入れることができ、基本的に PBS 医薬品を処方されるのが一般的だそうです。

日本と同じように保険制度も整っています。保険証となるのがメディケアカードです。



メディケアは税金から成り立っており、課税収入の 1.5%とされている国民健康保険です。

加入対象者はオーストラリアの永住権保持者、市民権保持者、永住権申請中の者です。

ワーキングホリディや留学で来ている人は取得できないのでなかなか目にする事ができない実物のカードを見せていただけてよかったです。



夕食は待ちに待ったラム肉を、家にある BBQ 用のコンロで焼いて下さいました。オーストラリアの家庭では BBQ コンロを持っていることは珍しくないそうです。ラム肉は豚肉のようにジューシーでしたが、骨の周りは臭みがありました。でも味つけがとても美味しかったので完食できました。



夕食後は、火曜日恒例の SURF CLUB へ行き、クイズを楽しみました。

### 3/8 AM Surf + English class

ホストマザーが High tide の朝は泳ぎに行くといいよ、と言っていたので早朝に友達とサーフをしに行きました。朝日が昇る前に海に着き、日の出を待ってから海に入りました。朝早かったので誰もいないだろうと思っていましたが、地元の人や散歩したり、スイミングやランニングをしたりと活動的でした。

英語のクラスでは文法を中心に勉強しました。特に比較級と最上級は、あまり意識して会話に取り入れていなかったもので、この機会に使っていきたいと思いました。

### PM Exchange with Remedial Massage students

整体学を勉強している学生のプレ施術のモニターとしてマッサージしてもらいました。施術前にアレルギーや既往歴など英語で質問されましたが、きちんと内容が理解できるよう丁寧にお話して下さったので理解でき助かりました。英語でマッサージを受けるのは初めてでしたが、とても心地よかったです。

放課後、ホストマザーの知り合いが働いているフルーツワールドに見学に行きました。マカデミアナッツやバナナ、マンゴー、アボカドなど数えきれないほどの果物や野菜が栽培されていました。マカデミアナッツを割り機で割って食べましたが、今まで食べたことのない甘みとミルク感が口に広がり、美味しかったです。

他に馬や羊、カンガルーやヤギも飼育されており、餌やりなども体験できました。

帰宅後、ホストマザーと浜辺までウォーキングに行きました。入り江に沿って歩きましたが、数年前まで入り江に橋が架かっていたなかったので、向こう岸に行くにはとても時間がかかっていたそうです。

夕焼けがとても綺麗でした。



### 3/9 AM Walk + Exchange with international ESL students

オーストラリアでの最後の朝ということで早朝にウォーキングしました。



入り江の向こう岸に行ったことがなかったので  
橋を渡り浜辺まで行きました。

永遠に続く砂浜と地平線と朝日によって  
神秘的な気持ちになりました。

早起きは三文の徳とはこのことかもしれないと感じました。

授業では TAFE に留学しに来ている外国の方と母国の特徴について情報交換しました。ロシア、ベトナム、タイ、ブラジル、日本などから来ている方と話していて感じたことは、英語でもそれぞれの国の訛りがあるということです。日本人の英語は聞き取りやすいですが、東南アジアの方が話す英語は聞き取りにくかったです。ロシアの方は抑揚がなく、逆にブラジルの方は抑揚がありました。私がそう感じたということは相手も感じていることなので、日本人が話す英語ではなく、ネイティブが話す英語を話せるように努力したいと思いました。

### PM Farewell ceremony/Graduation

修了式でした。オーストラリアに来た時は不安でいっぱいでしたが、あっという間に終わってしまいました。TAFE に来て、分からないことだらけでした。オール英語の授業を受けることも初めてでしたが、最後には授業中にわからないところを質問できるようになりました。



日本では授業というと先生の話聞くことに重きを置いています。オーストラリアでは先生と生徒が対等に話し合いお互いの知識を深めていくようなスタイルだったので、眠くなることもなく興味深いことだらけでした。

TAFE で学べた 8 日間、忘れられない経験ができました。

最後の夜、ホストマザーの孫の Jack の 10 歳のお誕生日ということでホームパーティーに行きました。お寿司のストラップをプレゼントし、折り紙を教えました。日本の文化に興味を持ってくれて嬉しかったです。家に帰るとホストマザーがお別れのお手紙エッグカップをくれました。4月のイースターで使ってねと言われたので、日本で馴染みのないイースターを今年はやってみようと思います。

### 3/10 帰路 ゴールドコースト空港→ケアンズ空港→関西国際空港

朝 5 時にも関わらず、ホストマザーが車で送ってくれました。お別れ時は本当に悲しか

ったです。ホストファミリーは私の拙い英語を一生懸命理解して下さり、また美味しいご飯と温かい雰囲気、団欒を提供してくださり、本当に感謝しています。Thank you so much.

当初、この研修の目的を語学力の向上、薬学に対する国際感覚の養成、キャリアビジョンの形成と考えていましたが、研修を終えてみて、その目的だけには収まりきらないものを得られたように思います。語学・薬学研修では知識を増やすだけでなく、質問し、反応、理解することで消化不良を起こすことなく身に付けることができました。ホームステイや街の散策では、現地の人々のあたたかさ、生活リズム、価値観などを知ることができました。この研修で得られたものは日本で生活してはそう簡単に手にできないものだと思います。

長くなりましたが、この報告書を読んで、海外へ行き、学び、海外の生活スタイルに触れてみたいと思ってくれる方がいらっしやると嬉しいです。

ありがとうございました。

